



特集

堀江佐吉 生誕百八十周年

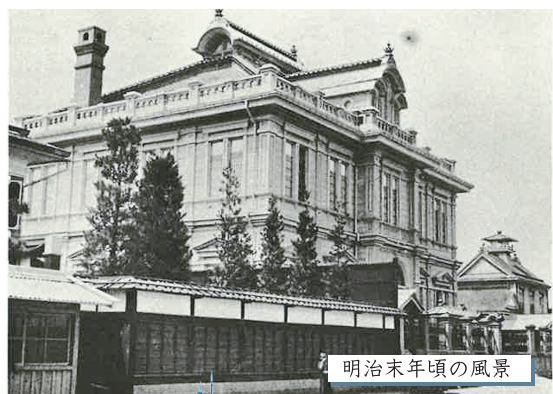
■ 問い合わせ先 文化財課 (☎ 82-1642)



弘前藩のお抱え大工・堀江家出身の堀江佐吉は、北海道での公共工事等に携わることで洋風建築に出会い、その後独自に洋風建築の研究に没頭したとされています。自らの出自である和風建築の技法に拠りながら、最新技術を貪欲に吸収し、生涯を通じて技術の研さんに努めました。

その卓越した技能で旧第五十九銀行本店本館、旧弘前市立図書館など、斬新かつ華麗な洋風建築を数多く手がけました。佐吉亡き後も、彼の精神や技能は、子孫や多くの弟子たちに引き継がれ、旧第八師団長官舎、旧藤田家別邸洋館、翠明荘（旧高谷家別邸）などの建物が、現在の弘前の街に彩りを与えています。

歴史と作品



明治末年頃の風景

- 1845 年 3月10日 弘前藩の大工であった父 ^{いへえ}伊兵衛の長男として弘前市覚仙町で生まれる
- 1859 年 14 歳 『海外余話』(酔夢痴人著、全5冊本、1851年刊)を絵も含めて全文を克明に写本する
- 1860 年 15 歳 新寺町の専徳寺本堂にある龍の彫り物や岩木山神社の玉垣の装飾を手がける
- 1871 年 26 歳 青森県官舎完成
→弘前班の棟梁を努める
- 1879 年 34 歳 函館で開拓使の工事に従事
- 1886 年 41 歳 東奥義塾校舎完成(1889年焼失)
- 1889 年 44 歳 弟や息子たちとともに空知屯田兵屋工事に従事
- 1892 年 47 歳 弘前市役所完成(1976年解体)
- 1896 年 51 歳 五所川原布嘉邸完成(1944年焼失)
崩落した弘前城天守台石垣修理着手(天守を曳家：1915年完成)
- 1897 年 52 歳 弘前美^み以教会教会堂完成(1904年焼失)
- 1898 年 53 歳 第八師団司令部完成
(現存せず/師団長室の一部が弘前駐屯地へ移設保存)
- 1904 年 59 歳 第五十九銀行本店完成
(旧第五十九銀行本店本館：1972年重要文化財指定)
- 1906 年 61 歳 弘前市立図書館完成(旧弘前市立図書館：1993年県重宝指定)
- 1907 年 62 歳 6月に弘前偕行社の工事を請け負う
8月18日没(享年62歳)
11月弘前偕行社完成(旧弘前偕行社：2001年重要文化財指定)



旧第五十九銀行本店本館



明治末年頃の風景



旧弘前市立図書館

好奇心・向学心に溢れ、地域に還元しようと生涯、弘前の地でまい進した名匠。

弘前大学教育学部 学部長 高瀬 雅弘さん



堀江佐吉は、設計から施工や管理までを一挙に手がけた、地域に根ざした名匠であると考えています。旧弘前市立図書館を市に寄付したというエピソードなどからも、弘前を愛し、地域に貢献したいという強い気持ちをうかがい知ることができます。難しい注文の建築物にも対応できる高い技術力に加え、多くの弟子を育て上げた「人づくり」の力にも目を見張るものがあります。

堀江佐吉は、弘前の街に近代の技術とモダンで明るい雰囲気をもたらしました。彼が残した洋風建築物は、弘前の人々に

市民である誇りやプライドを与えたのではないのでしょうか。

そんな彼の建築物には、たくさんの「遊び心」が隠されています。旧弘前偕行社の玄関には、車寄せの妻飾りとして和のデザインである唐草模様と、陸軍第八師団にちなんだ「蜂」のレリーフが施されています。また、旧弘前市立図書館には、寺院建築に用いられる木鼻といった和風建築の様式も取り入れられており、そうしたものを見つける楽しみもあります。ぜひ、彼が残した建築物を実際に訪れて、見て、触って、その美しさや技術力の高さ、そして建物に込められた思いを感じてほしいです。

おわりに

堀江佐吉は、生涯、弘前の地で、弘前のために、自らの技術を磨き続け、弘前の近代化に大きく貢献しました。

数々の建築物が、今もなお、弘前に残っていることを誇りに感じながら、改めて堀江佐吉の世界観に浸ってみてはいかがでしょうか。

きっと、私たち市民の誇りを実感することができると思います。



金剛山最勝院（銅屋町）境内にある巨大な記念碑も必見！



旧弘前偕行社